シネマズライフ

2018年1月19日発行 第137号 http://p.booklog.jp/users/rion-takagi

貴樹(たかぎ) 諒音(りおん)

【最近のこれはお見事！】『ライオンは今夜死ぬ』題名が面白い。しかし、お話とは関係ない感じで意味を知るには見るしかないみたいですね。

【最近のこれはまずいぞ！】『ちょっとまて野球部！』この一言で「待った」らダメなチームだな。

映画の風景 日本の風景

※ 種子島宇宙センター ※

← 種子島宇宙センター

『ドリーム』という映画があった。こんな映画だ。

ソ連(現・ロシア)とアメリカが【宇宙開発競争】を繰り広げていた頃。NASA・ラングレー研究所で働く三人の黒人女性・キャサリン、ドロシー、メアリーはそれぞれ得意分野を持って働いていた。

ある日、キャサリンに実力を見せるまたとないチャンスがやって来た。宇宙船の軌道計算を行う《宇宙特別研究本部(STG)》に配属が決まったのだ。計算のずれが分かれば、即座に計算できる能力が必要で、なかなか人材がいない中での抜擢だった。

しかし、《人種差別》の厳しい時代。黒人でその上女性であるキャサリンに対する風当たりは厳しかった。【西計算(黒人)グループ】を統括するドロシーは、何度も管理職への昇進を希望するが断られ、エンジニア希望のメアリーは女性でもあり、出世は絶たれていた。

そんな中、ドロシーとメアリーも行動を開始、NASAにコンピューターが導入される事を知ったドロシーは、すぐさまプログラム入力の勉強を、メアリーもエンジニアになる為に多くの《壁》を乗り越える準備を始めた。

一方、効率の悪いNASAのシステムに業を煮やしたキャサリンは、STGトップのハリソンに直談判をするが…。

まだアメリカに【人種差別】があった頃、自らの力を信じ奮闘する三人の姿は潔く、そんな彼女らの周辺の白人達の変化も見逃せない。

種子島宇宙センターは日本の【JAXA】が運営する大型ロケットの打ち上げ場。69年(昭和44年)に開設され、多くのロケットが打ち上げられている。この施設でもきっと多くの女性達が奮闘していたと思うとワクワクするのは、やはり私も女の子だからかな(笑)。

『ドリーム』2016年 アメリカ 監督：セオドア・メルフィ 原作：マーゴット・リー・シェッタリー
出演：タラジ・P・ヘンソン オクタヴィア・スペンサー ジャネール・モネイ ケヴィン・コスナー キルスティン・ダンスト

ドロシーの上司役のミッチェル演じるキルスティン・ダンストだが、当時の白人女性達がそうだったように、自らの考え変える過程を見事に演じ分けています。

コラム

もうどうにでもなれ！って感じな件

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

ちょっと遅すぎるご挨拶です(^^;)。

実は、今月の9日の午後から高熱を出し、夜中に我慢をできず救急病院へ駆け込み、ご多分に漏れずインフルエンザでした。体の節々は痛いわ、変な夢を見るわで、三日間ぐらいふらふら。四日目ぐらいから熱は下がったけど、喉の痛みと咳が止まらない…。ようやく、ここ4・5日は喉の痛みも楽になったが、まだ咳は時々出る始末。

今年は今から大流行の兆しがあるそうで、皆さまもお気をつけください。大人になってからのインフルエンザは辛いというけど、ほんとにしんどかったです(^^;)。

ここ数年、年頭から暗い感じだったのですが、今年なんか日本もどうなるかわからず、高熱の中で「もうどうにでもなれ！」って思ってしまった私。

居直りはよくないけど、今さら何をすればいいのかもわからず…。

そうなると、なんとなく落ち着いて【イザ！】となると、ああしようこうしようと考え、これもご時世かなっと思ってしまう病み上がりの私でした。

↑雲海と夜明け富士

☆【最近のこれはお見事！】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ！】は「これは、まずいぞ！」と思う題名を紹介しています。

on air !

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します！

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もあります。m(_ _)m

『スピード』

スターチャンネル

1994年 アメリカ
監督：ヤン・デ・ボン
出演：キアヌ・リーブス デニス・ホッパー サンドラ・ブロック
ジョー・モートン ジェフ・ダニエルズ

1月21日（日）12:00（吹）【チャンネル3】
1月25日（木）17:00【チャンネル1】
2月1日（木）18:45【チャンネル1】
2月4日（日）16:50（吹）【チャンネル3】
2月8日（木）8:45【チャンネル1】
2月12日（月）28:45 ⇒ 2月13日（火）4:45【チャンネル1】
2月24日（土）6:00【チャンネル1】

アメリカ・ロサンゼルス。オフィスビルのエレベーターに爆弾が仕掛けられた。が、ジャックが所属するＳＷＡＴ隊員達が協力して爆弾を排除し人質を解放するが、身代金を要求していた犯人は取り逃がしてしまう。

ところが数日後、犯人から市バスに時速約８０Kmのスピードが落ちると爆発する爆弾を仕掛けたと連絡が入り仕掛けを解除するには身代金を払えという。さっそくジャックが市バスに飛び込むが乗客の勘違いで運転手が撃たれ、ジャックはたまたま同乗していたスピード違反が原因で免停中のアニーに運転を任す…。

キアヌ・リーブスの全盛期の傑作アクション映画。また、この作品以降トップ女優に躍り出たサンドラ・ブロックの出世作でもあります。

『新宿スワン』

WOWOW

2015年 日本
製作：山本又一朗 監督：園子温
原作：和久井健 脚本：鈴木おさむ 水島力也
出演：綾野剛 山田孝之 沢尻エリカ 伊勢谷友介 深水元基
村上淳 安田顕 山田優 豊原功補 吉田鋼太郎

1月21日（日）8:45【シネマ】
2月28日（水）7:30【シネマ】

新宿歌舞伎町、そこは日本一の歓楽街。

街を彷徨っていた白鳥龍彦はそこに迷い込んだ。チンピラに絡まれた龍彦は大乱闘になったところをスカウトマンの真虎に助けられる。真虎はスカウト会社「バースト」の社員で、龍彦をスカウトマンに誘う。

スカウトマンとは、クラブ・風俗に紹介する女の子を街で引っかける仕事。しかし、龍彦はそんな女の子でも「スカウトした女の子たちを幸せにする」事をモットーに頭角をあらわし、高級クラブのムーランルージュのママ涼子も一目置く存在に。

ある日「バースト」とライバル会社「ハーレム」の抗争に巻き込まれ「ハーレム」の南秀吉に目をつけられる…。

若手俳優のトップをいく綾野剛が、情熱的なスカウトマンを熱演、風俗嬢役で沢尻エリカが下着姿で歌舞伎町を疾走するのも見どころ。

「サウンド・オブ・ミュージック」

1965年 アメリカ
監督・製作：ロバート・ワイズ
製作：ソール・チャップリン
出演：ジュリー・アンドリュース
クリストファー・プラマー
エレノア・パーカー

第二次世界大戦前夜のオーストリアのザルツブルク。尼僧院で修行を積むマリアは、性格が災いして、尼僧院から7人の子供がいるトラップ大佐の家に家庭教師として派遣される事に。

歌好きの明るい性格のマリアだが、軍人のトラップ大佐に教育された子供達は反抗的だ。だが、彼女の優しい心と歌に接しすっかり子供らしさを取り戻していった。

やがて紆余曲折のうちに、マリアと結婚したトラップ大佐だったが、オーストリアにもナチスが侵攻してきて、大佐も出頭命令が下る。そこで、ナチスを毛嫌う大佐は、故郷を離れる決心をし、マリア達と一計を案じる…。

ミュージカル映画の名作中の名作。作中に込められた《正義と自由への勇気》を描いて、数々の名曲と共に世界中で大ヒットした。

が、最近『サウンドオブミュージック』が作られたのは、実はオーストリアがナチスに協力的でその【言い訳】の為にこの映画が作られたという噂が出ているそうだ。しかし、wikiによると公開された時は、オーストリアでは史実と違う為、最近までザルツブルク以外公開された事はなかったそうだ。

どんな噂が出ようと、この映画の《正義と自由への勇気》という永遠のテーマは見る人達に大いなる勇気を与えてくれる。優れた映画とはそういうもの。

しかし最近、変な噂を持ち出して新しい事のようにいう論調が多い気がする。変な事が流行りだしたと思うのだが…。

Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie Cinema Film Movie CinemaFilm Movie Cinema Film Movie

☆読んで頂いてありがとうございました。よろしかったらコメントでご感想・お叱りお聞かせください。よろしくお願いします！m(_ _)m 貴樹諒音

☆次回発行は2月2日です。発行予定は第1・3金曜日です。m(_ _)m

シネマズライフ137号
発行人：貴樹諒音
発行日：2018年1月19日
cinemaz-life@movie.nifty.jp
告知ブログ
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/

【編集後記】

☆去年はプリンターがぶっ壊れてしまったが、最近はスキャナーとパソコンの不具合で、スキャナーが起動しない時があるプリンターもつい自身が古いのだが、これは今年は羅っ年にかたりなものだが、去年頭から調子がいいVDを買い替えT子が悪いDVDをパソコンを買いえたから替える訳にもいかず…。今年は私・どうなるんでしょうね（笑）。

皆さまお元気でお過ごし下さい。m(_ _)m かしこ

シネマズライフーcinemaz-lifeー １３７号

http://p.booklog.jp/users/rion-takagi
著者：貴樹 諒音
メールアドレス **cinemaz-life@movie.nifty.jp**
著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』
http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html

【写真素材-フォトライブラリー】
の画像を使わせてもらっています。

《スターチャンネル》
『スピード』
《ＷＯＷＯＷ》
『新宿スワン』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。
ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画
rion_takagiのMyムービー
https://movies.yahoo.co.jp/my/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A--/

※＆ 他にもいろいろやってます。**(^^;)** ※＆
お世話になっているインターネットＴＶ
netchannel KYO

『オススメ犬映画』
http://www.pet-c.net/column/movie/index.php
犬の映画を紹介してます。

§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸です。
cinemaz-life@movie.nifty.jp

§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

電子書籍プラットフォーム：パブー（http://p.booklog.jp/）
運営会社：株式会社トゥ・ディファクト